



PRESS RELEASE

2024年 9月吉日  
公益財団法人富山市民文化事業団

## サーカス・シルクール ニッティング・ピース



平和の糸をつむぐ  
息をのむパフォーマンスと  
美しい音楽で描く  
幻想的なサーカスパフォーマンス

©Karoline Hanke

ストックホルムを代表する現代サーカスのカンパニー、サーカス・シルクールの6年ぶりの来日公演！

開催日時：2024年11月30日（土）、12月1日（日）〈2回公演〉

会場：オーバード・ホール 中ホール（富山県富山市）

<https://www.aubade.or.jp/>

主催：オーバード・ホール（公財）富山市民文化事業団

企画制作：世田谷パブリックシアター

お問合せ：（公財）富山市民文化事業団 総務企画課 福岡・長澤

TEL.076-445-5610（8：30～17：15）



## サーカス・シルクール／Cirkus Cirkörとは？

ストックホルムを拠点に活動し、北欧を代表する現代サーカスカンパニー。

「シルクール」は、フランス語の「サーカス=cirque」と「心臓=coeur」を組み合わせた造語です。

1995年にフランスのヌーヴォー・シルクに触発されたティルダ・ビョルフオシュと若いアーティストたちによって「現代サーカスを通して不可能を可能にする」というビジョンのもと設立されました。以降、革新的な芸術体験を創造し続けています。

「現代サーカスを多くの人に体験してもらいたい」との思いから、ソーシャルサーカスの活動にも広く取り組み、世代や国籍・障害の有無などを超えて、あらゆるバックグラウンドを持つ人々へ教育プログラムやワークショップを提供しており、これまでサーカス・シルクールのトレーニングを受けた青少年の数は50万人を超えます。

## 『ニッティング・ピース』という作品について

「平和を編むことは可能だろうか？」という問いから生まれた作品。無数の白い糸やロープに埋め尽くされた幻想的な舞台の中で、5人のサーカスアーティストたちが音楽に導かれながら「手を取り合えば人にできないことはない」と証明するかのように、時に儚く、時にダイナミックにエアリアルやシルホイール、玉乗り、綱渡りなどの圧巻のパフォーマンスを繰り広げ、平和の道を紡ぎだそうと挑みます。

10年にわたる世界ツアーを経て、多くの声によってリバイバルツアーが実現した人気作。待望の来日公演をどうぞお見逃しなく！

## ここが見どころ！

多彩な表現を包容する現代サーカスの芸術性と、昔ながらのサーカスに期待される鍛え上げられた肉体が表現するスゴ技の連続に加え、それを導く謎めいた演奏がさらに作品の魅力を引き立てます。サーカスが好き、舞台芸術を愛する人、そしてパフォーミングアーツに馴染みのない方々にもぜひ来館して体験していただきたい瞬間・時間がここに存在します。

そこから、このような時代だからこそ、アーティストがこの作品を通じて願う平和の大切さを感じ取ってください。

舞台上で繰り広げられる一瞬一瞬すべてが見どころです。



PRESS RELEASE

2024年 9月吉日  
公益財団法人富山市民文化事業団

## OFFICIAL TRAILER

<https://www.youtube.com/watch?v=EUq2t65jlr8>



## MESSAGE

『ニッティング・ピース』では、何キロメートルにもわたる糸を使用します。そのため、パフォーマンスの最中に糸がもつれたり、アーティストが引っかかったりする可能性が随所であり、舞台スタッフとアーティストは、そのような予想外の事態に対応し複雑で危険な場面を回避する必要に迫られます。その瞬間の、息を呑むような心の揺れ。そんな経験を観客席に座る皆さんと共に行っていると、こう思うのです。世界平和への歩みの中では、それが実現するかどうかではなく、ただ平和を希求し、行動し続けることが肝心なのだ。私たちの誰にも、戦争を止めることはできないかもしれない。私たちの誰にも、その力はないのかもしれない。しかし、調和と共感を生み出すことはできる。それは私たちの力です。安全な場所で観劇をしているとき、あるいは舞台上に立っているとき、思考と共感を次につなぐことはできるのです。

サーカスパフォーマーは、不可能を可能にすることに心血を注ぎます。身体と精神の一体化を通して「実現可能なこと」の境界線を内と外から揺さぶり、不可能に思われていた技が成功したあとは、次なる課題が生まれる。1995年のスタートから、サーカス・シルクールは、リスクはチャンスに変えられるという思考をヒントにし、それを社会変革のための探求に利用しています。

編み物は、サーカスアートのパフォーマンスとは異なります。しかし、平和のために編み物をすることは、サーカスと似ている。どちらも、不可能を可能にするために、身体と心を駆り出すのです。

『ニッティング・ピース』芸術監督／演出  
ティルダ・ビョルフオンシュ



## 公演概要

- 日時:2024年11月30日(土)17時開演、12月 1日(日)13時開演 <全2回開催>
  - ※開場は開演の30分前
  - ※上映時間:約120分 途中休憩あり
- 会場:オーバード・ホール 中ホール (富山県富山市牛島町9-17)
- 出演:サーカス・シルクール
- 演出・コンセプト:ティルダ・ビョルフォス
- 音楽:サムエル・“Looptok”・アンダーション
- チケット料金:S席5,000円、A席4,000円、U-25 3,000円
  - ※未就学児の入場はご遠慮ください。
  - ※推奨年齢:10歳以上
  - ※U-25:鑑賞時25歳以下対象。公演当日の空席よりお席をご用意します。開演の1時間前よりU-25受付にて鑑賞者ご本人の年齢がわかる身分証明書をご提示の上、座席指定券とお引き換えください。アスネットカウンター、アスネットオンラインのみ取り扱います。
  - ※営利を目的としたチケットの転売は固くお断りします。※営利を目的としたチケットの転売
  - ※車椅子席をご希望の方は、事前予約が必要です。アスネットカウンターまでお問合せください。
  - ※公演の中止、延期を除き、ご購入済みのチケットの変更、キャンセル等はお受けできません。
- チケット発売日: アスネット会員先行 2024年9月7日(土)のみ  
一般 2024年9月15日(日)より
- プレイガイド
  - ・アスネットカウンター(オーバード・ホール 大ホール1階) TEL.076-445-5511  
営業時間/10:00~18:00 定休日/毎週月曜日(月曜が祝日の場合、翌平日休み)
  - ・アスネットオンラインチケット(24時間予約可) <https://www.aubade.or.jp>
  - ・チケットぴあ t.pia.jp Pコード:528-721
  - ・ローソンチケット l-tike.com Lコード:54303
- 主催:(公財)富山市民文化事業団、富山市 共催:北日本新聞社 後援:北日本放送
- 制作協力:山口情報芸術センター、岡山芸術創造劇場、愛知県芸術劇場、世田谷パブリックシアター
- 協力:スウェーデン大使館
- 助成:一般財団法人地域創造、スカンジナビア・ニッポン・ササガワ財団